

関東支部<山梨県と災害協定>

能登地震が契機に

協部  
ン支  
コ東  
水関

山梨県と災害協定

能登地震が契機に

全国上下水道コンサル  
タント協会関東支部(管  
原一孝支部長)は12月27  
日付で、山梨県と災害時  
における下水道施設の技  
術支援協力に関する協定

を締結した。山梨県が所  
管する下水道施設(流域  
下水道)が被災した際に、  
早期復旧を図るための技  
術支援協力として水コン  
協会員が被害状況の調査

や応急復旧方法に関する  
助言、災害査定資料の作  
成等を支援する。このほ  
か、情報伝達訓練等の合  
同訓練の実施なども盛り  
込んだ。下水道BCP訓  
練または個別の訓練で実  
施するか等は来年度にあ  
らためて固める。

令和4年6月ごろから  
水コン協関東支部と協議

を進めてきた中、昨年1  
月に発生した能登半島地  
震をはじめとする自然災  
害の頻発が契機となり、  
受援体制を整える一環と  
して今回の締結へと至っ  
た。水コン協関東支部と  
山梨県の2者間での協定  
であるため、県内市町村  
については個別の対応と  
なる。県では県内市町村

に情報提供の形で災害支  
援協定の必要性等を周知  
していく。  
山梨県としては下水道  
関係で日本下水道管路管  
理業協会、山梨県建設業  
協会に続き3団体目。一  
方、水コン協ではこれま  
でに82件599事業体と  
の間で災害支援協定を締  
結している。